

就職体験談

卒業生氏名：ヘイン テッ パイン ウー

卒業年度：2026年3月

卒業学科：中部学院大学短期大学部 幼児教育学科

私は中部学院大学短期大学部 幼児教育学科に在学中の留学生です。私は幼児教育学科で学んでいますが、学んでいる中で「相手の気持ちを理解して寄り添う力」「丁寧なコミュニケーション力」「責任感」など多くの力を身に付けました。これらの力は、ホテルでの接客にも強く活かせると感じています。また、留学生として日本で生活する中でたくさんの人に親切にしてください、私も「人を笑顔にする仕事」に興味を持つようになりました。

特にホテル業界は、お客様の思い出を作る大切な仕事で、国際的な場でもあり、自分の強みである外国語やコミュニケーション力を発揮できると考えています。そのため、私はホテル業界で働く道を選びました。

幼児教育を学びながらも、将来は日本のホテル・リゾート業界で働きたいという夢を持っていました。そのため、短期大学での2年間は勉強と同時に、就職活動にも全力を注いできました。

私が就職活動を始めたのは、1年生の終わり頃でした。ホテル業界は人気が高く、留学生にとってはさらに競争が厳しいと聞いていました。そのため、できるだけ早く動き出し、希望するホテルをリストアップして履歴書の準備を始めました。

まずは興味を持ったホテルに履歴書を送りました。しかし、最初のホテルは履歴書選考で落ちてしまいました。とてもショックでしたが、「ここで諦めたくない」という気持ちが強く、次のホテルへ挑戦しました。

2つ目、3つ目のホテルも書類や面接で不採用となりました。何度も不合格の連絡を受けるたびに落ち込みましたが、それでも私は気持ちを切り替えて、次のホテルの説明会や面接に向かいました。

応募したホテルは全部で8つにのぼりました。中には遠方にあるホテルもあり、朝早く家を出て長い時間をかけて説明会や面接に参加したこともあります。移動は大変でしたが、それでも行く度に「ここで働きたい」という気持ちが強くなりました。

私は幼児教育を学んでいるため、ホテル系の専門学校で学んでいる学生と比べると、ホテル業界に直接関係する知識が少ないことに不安を感じていました。実際に面接で「なぜ幼児教育

科なのにホテルを選んだのか」と質問されることも多く、自分の思いを伝えるために何度も答え方を練習しました。

しかし、留学生として培った語学力や異文化理解、そして幼児教育で学んだコミュニケーション能力は、ホテル業界でも活かせる強みだと信じて面接に臨みました。

そしてついに、8つ目に受けたリゾートホテルから内定をいただくことができました。私自身、リゾートホテルが特に好きだったので、そのホテルから内定をもらえた時は本当に嬉しかったです。何度も失敗しながらも諦めずに続けてきてよかったと心から思いました。

今回の就職活動は、私にとって挑戦の連続でした。不安や失敗も多かったですが、その経験はすべて自分を成長させる大切な時間だったと思います。

留学生として日本で就職活動をするのは簡単ではありません。しかし、諦めずに挑戦を続ければ、必ず自分に合った場所が見つかると思います。今回の体験から学びました。